

「センサにおける複合技術化研究会」ご案内

「ロボットにおけるセンサ技術」講演と「金沢工大・夢考房」見学会

次世代センサ協議会北陸支部は「センサにおける複合技術化」に関して研究開発動向や産業化動向を調査し、研究発表会を開催してきました。

今年度は、「ロボットにおけるセンサ技術」というテーマで、ロボットの認識や動作におけるセンシング技術について講演いただき、ロボットにおける複合技術について一緒に考えてみたいと思います。

さらに、金沢工業大学様より「大学のロボテックス学科におけるものづくり実践的教育とロボコン、ロボカップ奮戦記」を紹介いただき、有名な「金工大・夢考房」を見学します。

記

■日 時:2009年12月8日[火] 13:00-17:00 (意見交換会は17:20~18:30)

■場 所:金沢工業大学 本館

石川県石川郡野々市町扇が丘7-1 TEL 076-248-1100(代表)

交通アクセス 小松空港よりバス75分、金沢駅よりバス30分

<http://www.kitnet.jp/access/access01.shtml>

■主 催:次世代センサ協議会北陸支部、

■共 催:金沢工業大学研究支援機構

■協 賛:(独)JSTイノベーションプラザ石川、(財)北陸先端科学技術大学院大学支援財団、
金沢大学イノベーション創成センター、富山大学地域連携推進機構産学連携部門
福井大学産学官連携本部、富山県立大学地域連携センター、金沢工業大学ものづくり研究所
(社)電気学会北陸支部、(社)計測自動制御学会北陸支部

■後 援:(財)富山県新世紀産業機構、(財)石川県産業創出支援機構、(財)ふくい産業支援センター
北陸経済連合会イノベーション推進事業部

■プログラム

13:00-13:50	<p>人間共存型ロボットにおけるセンサと認識技術 <small>(株)東芝研究開発センター 知識メディアラボラトリ 研究主務 鈴木薫</small> 日常生活を支援するロボットでは人とのコミュニケーションやインタラクションが重要。そのような人間共存型ロボットのための視覚、聴覚、触覚などを担う各種センサとそれらの認識技術について、最近の技術動向を解説いただく</p>
13:50-14:40	<p>ロボティクスにおけるものづくり実践的教育とロボコン・ロボカップ奮戦記 <small>金沢工業大学 ロボティクス科 准教授 藤木信彰 ほか</small> ロボットは機械、電気、情報の複合技術といえる。金沢工大のロボテックス学科におけるセンサ、アクチュエータ、制御技術等の実践的教育と、学生によるロボコン・ロボカップなどのプロジェクト活動と、生の奮戦記を紹介いただく</p>
14:40-14:50	<p>休憩</p>
14:50-15:40	<p>スキーロボットにおけるターンのセンシングシステム <small>金沢大学大学院 自然科学研究科 教授 米山猛</small> スキーロボットと聴くだけで夢が弾む。雪面上でのスキーターンにおける、スキー板のたわみ、雪面との接触圧力等のセンシングシステムの実測成果、および人間のターン動作の研究から、スキーロボットの可能性について紹介いただく</p>
15:40-17:00	<p>夢考房と工学専門実験室 見学会 金沢工大の実践的なものづくり教育現場となる「夢考房」をはじめ、「工学専門実験室」、「ライブラリセンター」等を見学いただく</p>
17:20-18:30	<p>意見交換会 (希望者のみ、会費 3,000円)</p>

■参加費: (テキスト代、消費税込)

会員、共催、協賛、後援会員/3,000円、 非会員/5,000円、 学生/1,000円

■参加申し込み方法: 12月4日(金)までに氏名、勤務先、所属、住所、電話、意見交換会参加の可否、Emailアドレスを記入し、下記事務局あてE-mailにてお申し込みください。

■事務局: 次世代センサ協議会北陸支部 石川県小松市丸内町大手63 (株)センサ内

E-mail jisedai@sensa.co.jp (担当幹事 高田敬輔 TEL 090-8260-3617)